

下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地に係る報告書 (概要版)

平成 29 年 3 月発行

発行・編集：下田市教育委員会学校教育課（下田市四丁目 4 番 16 号）
電話：0558-23-3929 FAX：0558-23-5176
E-Mail：s-kyoui@city.shimoda.shizuoka.jp

1 これまでの経過

平成 28 年 8 月に下田市総合教育会議において、「下田市立中学校再編に係る報告書（以下「総合教育会議報告書」という。）」が策定されました。これを受け、下田市教育委員会では、次のとおり、中学校再編に係る課題についての様々なご意見を聴取させていただいた上で、検討を進めました。

(1) 下田市立中学校再編検討会議の設置

会長に教育長、下田市立小中学校長、下田市立小中学校 P T A 会長、下田市区長連絡協議会市内 6 地区会長を構成委員とした「下田市立中学校再編検討会議」を平成 28 年 10 月に設置、平成 29 年 2 月までに 4 回の会議を開催しました（その内 1 回は中学校視察）。

(2) 総合教育会議報告書保護者説明会の開催

平成 28 年 10 月から 11 月にかけて、小中学校保護者に対しては 4 中学校学区単位に、幼保こども園保護者に対しては各園単位に、総合教育会議報告書に係る説明会（計 8 回）を開催しました。併せて、全ての保護者に対し、総合教育会議報告書（概要版）を配布、また広報しもだ平成 28 年 9 月号に総合教育会議報告書内容の特集記事を掲載し、その周知を図りました。

(3) 総合教育会議報告書中学校再編に係るアンケート調査の実施

平成 28 年 10 月から 12 月にかけて、小中学校及び幼保こども園、全ての保護者の方を対象にアンケート調査を実施し、中学校再編を検討する上での様々なご意見を聴取しました。

(4) 市長と語る会の開催

平成 28 年 10 月から 11 月にかけて開催された市長と語る会において、中学校再編に関して、地域の方からご意見を聴取しました。

2 下田市教育委員会としての今後の方向性について

総合教育会議報告書において、「段階を踏まず、4 校を一度に統合する 1 校化の手法が望ましい」と示されたことから、下田市教育委員会では、「1 これまでの経過」で記載させていただいた経過を経た上で、次のとおり、中学校再編に係る今後の方向性を取りまとめました。

(1) 校舎位置

ア 方向性

現在の下田中学校敷地を利用し、新たな中学校を設置したい。

イ 理由

下田市総合教育会議において、新中学校候補地は、「現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましい」という方向性が示されました。下田市立中学校再編検討会議での意見やアンケート結果、既存学校施設状況、周辺環境なども含め総合的に検討した結果、生徒の学習環境を守り、改善していくことを第一目的とした場合、現在の下田中学校敷地が望ましいという方向性に至りました。しかし、懸念とされている通学における防災や防犯などの安全性を高めるための対応やその

他の課題については、今後、更なる検討を行う必要があります。

(2) 通学補助

ア 方向性

保護者への負担を考慮すると全額補助としたいが、最低でも現在、負担していただいている以上の負担はかけないことを前提に、継続して検討する。

イ 理由

市内全域からの通学となるため、教育を受けるための不公平感の是正、時間的、精神的制約への対応を考慮すると全額補助が望ましいと認識していますが、市の財政状況を考慮すると現在、保護者に負担していただいている以上の負担はかけないことを前提に、今後、更なる検討を行う必要があります。

(3) 建設手法

ア 方向性

既存学校施設を最大限活用した大規模改修を視野に入れ、継続して検討する。

イ 理由

下田市立4中学校を一度に統合するためには、多額な事業費が必要となりますが、現在の市の財政状況を考慮すると既存学校施設や補助制度を最大限活用した大規模改修を視野に入れ、今後、更なる検討を行う必要があります。

3 既存中学校の跡地利用について

下田中学校以外の既存中学校の跡地利用については、今後、中学校再編に係る最終決定を行った後に検討します。また、まちづくりの観点からも跡地利用は非常に重要なことから、市としても全庁的な対応にて、地域との協議を進める予定です。

4 総合教育会議報告書中学校再編に係るアンケート調査結果

(1) 調査目的

中学校再編を検討する上で様々なご意見を聴取することを目的に本調査を実施しました。

(2) 調査実施年月

平成28年10月から12月

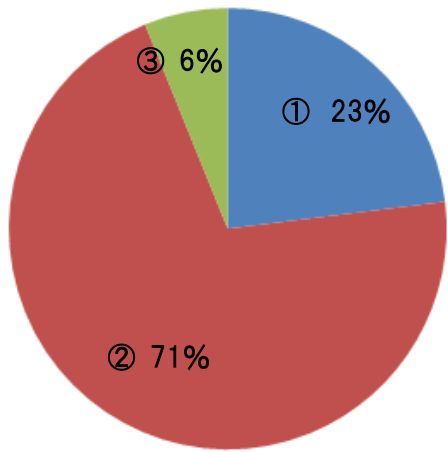
(3) 調査対象・回収状況

調査対象は市内全小中学校（7小学校及び4中学校）及び幼保こども園（公立3園及び民間2園）の保護者及び教職員とし、回収状況は以下のとおりです。

区分	配布数	回収数	回収率
全体	1,882	1,222	65%
(保護者)	(1,602)	(1,045)	(65%)
(教職員)	(280)	(177)	(63%)

次ページのグラフは、アンケート調査内の設問「下田市総合教育会議では、『新中学校候補地を現在の稲生沢中学校もしくは下田中学校とするのが望ましい』という方針を示しましたが、どちらが望ましいと思いますか。また、その理由についてもお書きください。」の回答結果です。

【どちらが望ましいかについて】



区分	回答数
①. 稲生沢中学校	240
②. 下田中学校	738
③. その他	64

※【n=1,042】

稲生沢中学校 240 人（保護者 200 人・教職員 40 人）、下田中学校 738 人（保護者 615 人・教職員 123 人）、その他 64 人（保護者 50 人・教職員 14 人）という結果でした。

「稲生沢中学校」回答理由としては、「通学条件(距離・時間・費用等)」「公共交通網の環境」「周辺環境(施設・駐車場・道路等)」の順に、一方、「下田中学校」回答理由としては、「防災面での安全性」「通学条件(距離・時間・費用等)」「周辺環境(施設・駐車場・道路等)」の順にその理由として挙げられていました。また、「その他」回答理由としては、「判断できない」「その他(未記入等)」「どちらも望ましくない」の順にその理由として挙げられていました。

この他、アンケートでは、新中学校に望むことや通学等の配慮、その他、中学校再編に関するご意見について、伺いました。調査結果については、報告書内に記載しております。詳細については、下田市公式ホームページをご覧ください。

5 下田市立中学校再編検討会議意見概要

下田市立中学校再編検討会議では、①校舎位置、②建設手法、③通学補助、④1校化する上での課題、以上4点の方向性についての意見を聴取しました。主な意見は、次のとおりです（カッコ内は学区）。

(1) 校舎位置の方向性について

- ・稲生沢中学校は教室数や敷地を考えると物理的に無理である。【稲梓】
- ・校舎については、利便性か安全性かという論点になり、やはり安全性が重要。安全性を踏まえると下田中が望ましい。また、全て市有地であることから予算的にも良い。【稲生沢・下田東】
- ・下田中は高台であり、部活動などを考慮すると敷地も広く、近隣に市民スポーツセンターや敷根公園があるため、それらを活用することができる。【稲生沢】
- ・高台のため、通学は大変で落石危険箇所もある。しかし、トータルで考慮すると下田中が望ましい。【稲生沢】

(2) 校舎建設手法の方向性について

- ・市内で1校にするのだから、子どもたちに新しい環境の中で学んでもらいたい。【稲梓・下田】
- ・新築が望ましいが、市の財政的な面から考慮すると改築なのではないか。【稲生沢】
- ・新築が望ましいが、財政的に厳しいことが想定されるので、改修となった場合は、最低でも耐震性を、安全面を第一に検討してもらいたい。【下田東】
- ・現在の校舎は建築から30年以上経過していることもあり、雨漏り、耐震等を考慮するとやはり新築が望ましい。【下田】

(3) 通学補助の方向性について

- ・可能であれば全額補助をお願いしたいが、既存1/2補助で現在の負担以上にならない方が良い。【稲梓・下田・下田東】
- ・バス代は高いがやはり全額補助にするとともに、自転車通学についても拡充すべきである。またバス会社に対しても経済的効果が生まれ、路線維持に繋がる。【稲生沢】
- ・中学生くらいの年代であれば、少くく遠くであっても構わない。【稲生沢】

- ・スクールバスが良いが、生徒は長い時間乗車しているので、その時間についても不公平感がないように検討してもらいたい。【下田東】

(4) その他、1校化する上での課題とその方向性について

- ・再編するまでの間に各校との交流をより深めるような手段を検討してもらいたい。【稲梓・下田東】
- ・中学校跡地利用についての検討。【稲生沢・下田東・下田】
- ・各地域に中学生がいなくなるため、防災訓練や祭り等、地域行事への対応がどうなるのかという懸念。【下田東・下田】
- ・通学に対する時間的な制約をどう対応していくのか（部活動等の時間を含め）。【稲梓・下田】
- ・現状でも下田中付近の道路は事故等が発生する可能性があり危険であるため、今後の自転車通学や親の送迎などを考慮した上でのインフラ整備も必要となる。【稲生沢・下田】
- ・下田中は防災面では高台にあるため良いが、高台にあるがために防犯面においては心配な面があるので、その対応をどうしていくのか。【下田】

6 今後の中学校再編に係る協議について

今後の中学校再編に係る協議については、下田市教育委員会の附属機関である「下田市立学校等再編整備審議会」を設置し、中学校再編の方向性についての諮問及び答申を行います。その後、下田市教育委員会定例会や下田市総合教育会議において協議及び調整した上で、下田市として中学校再編に係る政策決定をする予定です。

今後のスケジュール予定

関係事項	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9
保護者・学校		概要版配布 周知					説明会開催 (4中学校区)
地 域			広報周知				説明会開催 (6地区)
下田市立学校等 再編整備審議会	設置準備	第1回 設置・諮問	第2回 協議	第3回 協議・答申			
市内プロジェクト	再編整備審議会と並行して、随時開催（答申後も継続して調査・研究）						
教育委員会	報告書 事前協議	経過報告	経過報告	経過報告	事前協議		
総合教育会議					協議調整		
政策会議	報告書 確認	随時開催				政策決定	

※平成29年9月以降、最終決定した方針等の説明会を保護者・学校、地域に対し、開催させていただきます。併せて、下田市教育委員会の附属機関である「下田市立学校統合準備委員会」にて、1校化に向けたより具体的な協議（新しい学校のあり方、校歌、通学等）を進める予定です。

「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地に係る報告書」は、下田市HPに掲載しております。

URL <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>